TECHNIX ADVANCED SMART CARTRIDGE

TASC for KAWASAKI Ninja250SL

全年式対応

ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高機能カートリッジフォークへ Ninja250SL をアップグレード！

TASC 内部イメージ
（写真は MT-09）

TASC for KAWASAKI Ninja250SL　￥158,400（税抜¥144,000）　TASCNINJA250SL

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ￥8,580（税抜¥7,800）
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール

ノーマルフォークスペック

- ダンピングアジャスター 非装備
- ダンパーロッド式

▶

TASC フォークスペック

- 伸側 ダンピングアジャスター
- 圧側 ダンピングアジャスター
- カートリッジ式 高性能積層シム
- 専用 フォークスプリング
- 専用 インナーチューブ

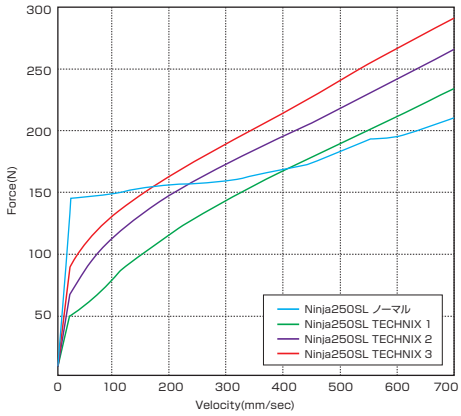
ストリートからサーキットまで最適なダンピングレスポンスを獲得

純正フォークには減衰力調整機能がないものを採用する Ninja250SL。初期の動き出しが固くスプリングレートが低いためブレーキングなどでは奥まで入ってしまいます。また、減衰力が弱いため戻りも早く戻ってしまい、スピード域が上がったコーナーではコーナリング中に接地感がなくなります。

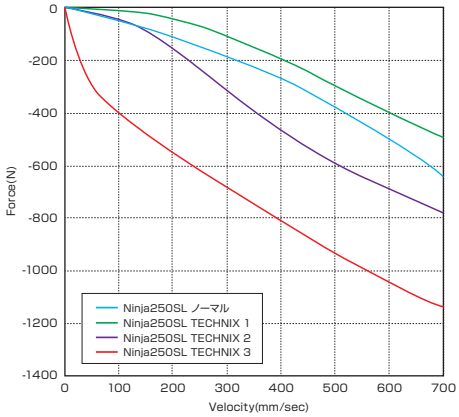
そこで、Technixではフロントフォークの弱点を補うべくTASC キットをNinja250SL用に新たに開発。調整機能付きトップキャップを組み込むため専用インナーチューブを採用し、スプリングレートを適正化。積層シム型バルブシステムを用い完全カートリッジ化。片側をコンプレッションダンパー、もう片方をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行まで幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

Ninja250SL TASC コンプレッションの比較例



Ninja250SL TASC リバウンドの比較例



ストリートセット
初期の反発をしなやかにし、低速、低荷重でも乗り心地を損なわないように減衰力は弱め、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸び側減衰を若干効かせ気味にセットアップ。

ワインディングセット
積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナーにアプローチすることを前提にストリートよりも圧側減衰を掛ける。切り返しで軽快に車体を操る為に、あえてリバウンドはストリートセットと同じ。ストローク中間域でも減衰を掛け安定した車体姿勢でライディングができるようセットアップ。

サーキットセット
フルバンク状態でもフロントタイヤを路面に留まらせる為にリバウンドも強めにセット。ロースピード域での減衰力を効かせる設定で、フロントタイヤにしっかりと荷重を掛け、積極的にライダーがマシンを曲げていける仕様で、サーキット走行で「攻める」走りをするライダー向けのセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON　R1 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。
同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。

racing suspension Technix
有限会社テクニクス

［ご注意］：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。